

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2024年 第32週（8月5日～8月11日）

## 今週のコメント

～マイコプラズマ肺炎～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

### 定点把握感染症

「マイコプラズマ肺炎、過去10年と比べて多い報告数」

第32週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,117例であり、前週比23.6%減であった。定点あたり報告数の第1位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.34、2.51、1.55、0.77、0.71である。

手足口病の報告数は前週比29%減の855例で、中河内6.37、堺市5.53、泉州5.19、大阪市北部5.14、北河内4.72であった。

感染性胃腸炎は16%減の494例で、三島3.47、大阪市南部3.11、南河内2.81である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は14%減の306例で、大阪市南部2.44、堺市2.26、南河内2.25であった。

ヘルパンギーナは35%減の151例で、大阪市北部1.64、大阪市西部1.40、中河内1.11である。

RSウイルス感染症は30%減の140例で、大阪市北部1.86、大阪市西部1.40、中河内1.11であった。

インフルエンザは42%減の81例で、定点あたり報告数は0.26である。大阪市北部1.05、南河内0.75、堺市0.28、大阪市東部0.23、泉州0.21であった。

新型コロナウイルス感染症は41%減の2,329例で、定点あたり報告数は7.61である。堺市13.72、南河内8.46、豊能8.14、大阪市北部7.80、北河内7.73であった。2024年第1週以降の新型コロナウイルス感染症入院サーベイランス累計報告数は70歳以上が70%を占めている。

基幹定点疾患のマイコプラズマ肺炎は、67例の報告があった。前週より3例減となったが、過去10年と比べて引き続き多い報告数となっている。

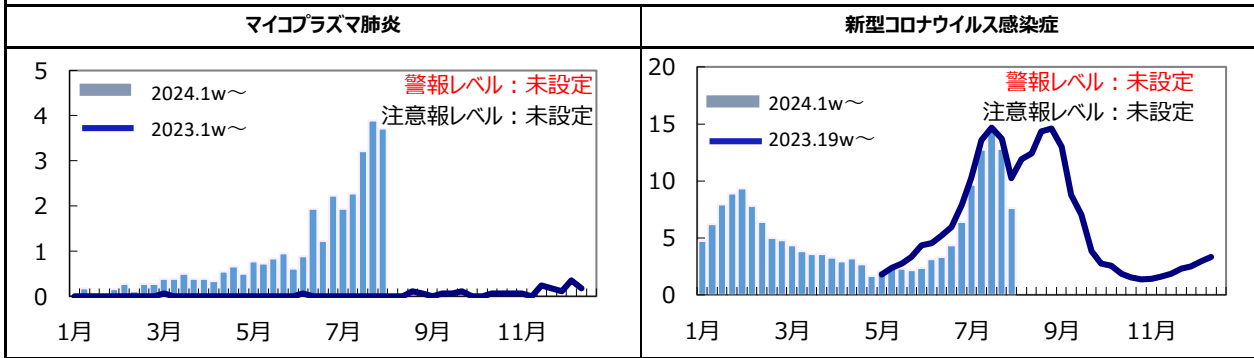


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第32週8月5日～8月11日）

第32週の順位	第31週の順位	感染症	2024年第32週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第32週の定点あたり報告数	2024年第32週の年齢別患者発生数最大割合
1	1	手足口病	4.34	29%減	0.26	1歳_24%
2	2	感染性胃腸炎	2.51	16%減	1.90	1歳_19%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.55	14%減	1.33	3歳_14%
4	4	ヘルパンギーナ	0.77	35%減	0.64	2歳_22%
5	5	RSウイルス感染症	0.71	30%減	0.72	1歳_39%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	7.61	41%減	10.23	80歳以上_13%

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

# 第32週のコメント

～侵襲性髄膜炎菌感染症～ 2024年第32週の累積報告数は、過去10年で最も多い2019年と同数になった。

**全数把握感染症**

**侵襲性髄膜炎菌感染症**

侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌（*Neisseria meningitidis*）による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2～10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、重症化をきたすと紫斑の出現、ショック、播種性血管内凝固症候群（DIC）を呈する。髄膜炎ベルト（meningitis belt）とよばれるアフリカ中央部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、第三世代セフェム系抗菌薬等が使用される。患者との接触者には、緊急に、リファンピシンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌（血清型A、C、Y、W-135）ワクチンの任意接種が開始されている。

[髄膜炎菌性髄膜炎とは（国立感染症研究所）](#)  
[侵襲性髄膜炎菌感染症（厚生労働省）](#)

**年別累積報告数**

2024年は大阪府第32週時点（7例）  
全国第31週時点（36例）

年	大阪府累計	全国累計
2014	5	35
2015	2	30
2016	3	45
2017	3	25
2018	4	35
2019	7	48
2020	2	30
2021	0	10
2022	1	20
2023	3	35
2024	7	45

**表 2. 大阪府全数報告数（2024年 第32週8月5日～8月11日）**

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります  
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ( )内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内							府内累積報告数	
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州		大阪市
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4	1	1				1		1	105
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2			2						73
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3		1	1			1			104
	急性脳炎	1							1		11
	後天性免疫不全症候群	1								1	60
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1								1	7
	梅毒	7		1	1					5	1,143
	百日咳	1								1	45
結核 (2024年6月分)	<b>結核 新登録患者数：75名</b> (内 肺・喀痰塗抹陽性 25名) (府内累積報告数 490名、内 肺・喀痰塗抹陽性 186名)										

(2024年8月13日 集計分)